平成19年度2007年度

施政方針（要旨）

2月那覇市議会定例会で翁長市長が述べた新年度（平成19年度）の施政方針の要旨を掲載します。
（全文は那覇市ホームページでご覧となれます）
http://www.city.naha.okinawa.jp/

平成19年（2007年）2月那覇市議会定例会の開会にあたり、今後の市政運営に対する私の所信を申し上げ、市民の皆様はじめ、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

市民自治の確立と協働によるまちづくり

市政を取り巻く行財政環境をみますと、膨大な借金を抱える国と地方の財政は、財政健全化へ向けた取り組みが待ったなしの状況になっています。

加えて、わが国の総人口は減少へ転じ、少子高齢社会の進行に拍車がかかり、医療費や扶助費など社会保障費が増加の一途を辿っています。

このような環境の変化は、本市にも時代の荒波として大きな影響を及ぼしており、一層行財政改革の手綱（たづな）を引き締めて行く必要があります。

私は市長に就任以来、「市民との協働によるまちづくり」を掲げ、市民と膝を交え、まちづくりのあり方、課題を語る供用を開始します。また現在、平成20年度の供用開始に向けて、し尿・浄化槽汚泥処理施設の建設を予定しており、本市の環境基盤施設はほぼ整うことになります。

今後とも市民と手を携えて処分場と、南風原町に建設の運営施設が完成し、ともに

市民主体のまちづくりを進める観点から、自治基本条例の制定が必要と考えており、平成19年度から市民との協働により同条例の制定作業に着手します。

より一層の市民サービスの向上を図るために、ISO9001の全庁拡大に取り組みます。

子どもを産み・育てる環境の整備

私は、昨年、次代を担う子どもたちの健全育成のために、子どもに関する事務を一元的に所管する「こどもみらい局」を設置しました。

平成19年度は、こどもみらい局を部に昇格させ、認可外保育施設の認可化を促進し待機児童解消に努めるほか、指定管理者制度の導入による児童館の充実強化や児童クラブへの継続的な助成など、子どもを安心して産み・育てる環境整備に強力に取り組みます。

また、「こどもみらい基金」を創設し、「こどもの食育推進事業」などを進め、子どもたちの健やかな成長と夢が広がる施策を展開します。

認可保育園の協力の下「子育て応援DAY」の充実を図り、育児に悩む保護者の支援に努めます。

学校・家庭・地域社会が連携・融合した取り組みをより一層推進するために、「総合青少年課」を新設し、青少年教育のワンストップサービスの実現を図ります。

子どもの遊ぶ場・遊ぶ機会を確保し、放課後を安全・安心・有意義に過ごせるように、「放課後こどもプラン」を実施します。

老朽化した幼稚園の園舎、小・中学校の校舎、体育館、プールの改築に取り組むとともに、空調設備の計画的導入など、学習環境の整備に努め

ます。

環境行政の推進

平成19年度は、那覇港新港ふ頭地区内に建設中の新港転換するものです。

平成19年度予算編成

平成19年度予算案は、一般会計が1,034億1,500万円で、対前年度比73億1,900万円、7.6%の増となっています。企業会計を除く特別会計は、総額812億4,166万円で、対前年度比5.3%の増となっています。

平成19年度予算編成については、今後も厳しい財政状況が予想されるため、昨年度に引き続き、一般財源の一部を枠配分する方式により行いました。

生活保護費や私立保育園運営負担金などの扶助費や、学校舎建設、市営住宅の建て替え事業などの普通建設事業費は、平成19年度から児童生徒、サンゴ礁・古島第一地区の良好な生活環境を整備します。

市営住宅では、久場川市営住宅建替事業第1期工事の2DKを完成させ、第2期工事の2DKを完成させ、第2期工事の建設設計を行います。

石嶺市営住宅建替事業では、第1期工事を継続して行い、第2期工事120戸の建設に着手します。

宇栄原市営住宅建替事業第1期分の実施設計、識名市営住宅建替事業85戸の建設に着手します。

総合交通体系の整備

公共交通の利用推進のため、市民の意識醸成を図ることを目的に、「生活の足を支える交通政策事業」を実施します。

4月から本格導入となる、国際通りトランジットモール事業の円滑な推進を図ります。

人と環境にやさしい低公害小型ノンステップバスの導入支援など、公共交通政策の実現に取り組みます。

主要な幹線道路として、石嶺線はから5路線の整備を推進し、その他道路新設改良事業として鳥堀12号を整備します。

新規事業として交通安全施設整備事業を実施します。

水の供給と処理

上水道事業では、ポンプ場の施設更新、配水系統の中（ちゅう）ブロック化を推進します。

下水道事業では、識名・小禄・古波蔵地域の雨水施設を整備します。

下水処理場放流流水管理水の一部を高度処理し、新都心地区のトイレ用水や散水用水として再利用します。

都市の安全

市内の災害時要注意箇所や防災知識を記載した防災マップを作成し、「災害に強いまちづくり」「災害に強いひとづくり」に努めます。

消防ポンプ車に搭載装備される救助資機材の更新を図り、新たにAED（自動体外式除細動器）を装備し、火災・災害時の対応力の強化を図ります。

昨年度に引き続き、特殊地下壕対策を進めます。

積極的な社会参加を促す事業を進めます。

市政運営の基本姿勢

市民自治の確立と協働によるまちづくり

平成18年度は、道路・公園の整備を進めます。

平成19年度は、市民との協働を基本とする沖縄県の地域活性化プロジェクトや、地域住民の自治会委託を推進します。

病院事業については、医療スタッフの充実に努め、手術患者の待機日数短縮のための手術室の増設を図ります。

土地区画整理事業は、真嘉比・古島第一地区の良好な住宅環境を整備します。

今年度から新たに壁面緑化の助成を推進します。

都市デザインの実践

石嶺市営住宅建替事業では、首里金城地区、壺屋地区、龍潭通り沿線地区の景観形成助成事業を推進するとともに、景観法にもとづく景観計画を策定するなど、積極的に都市デザインの実践に努めます。

生涯学習の総合的推進

学校施設を地域の学習・文化活動や交流の場として開放し、生涯学習の振興と地域のコミュニティづくり、地域と学校との連携・交流を広げていくために、地域・学校連携事業の整備を進めます。平成19年度は、城南小学校に設置します。

幼稚園教育・学校教育の充実

幼児教育の総合的な施策を推進する行動計画として「幼児教育振興アクションプログラム」を策定し、公立幼稚園のあり方や役割を見直します。

総合的調査の一環として、那覇空港拡張整備に向けた、那覇空港及周辺地の理蔵文化財調査に着手します。

那覇市歴史博物館開館1周年を記念して、特別展（仮称）「那覇士族福地家に伝世（でんせい）する染織（そめおり）展」を開催します。

国宝「琉球国王高家関係資料」修理事業（仮称）「国宝高家文書（もんじょ）」刊行事業の共同委託を実施します。

市民文化の創造

那覇市文化のまちづくりプラン・文化振興基本計画」に基づいて文化行政を推進します。

青少年舞台プログラムのワークショップの実施、地域づくりを進めるための芸術監督によるタウンミーティングを引き続き実施します。

新たに太鼓フェスティバル事業を実施します。

商工業の振興

都市機能の増進および経済活性化を推進するために、「新市民広場整備推進課」を新設します。

土地開発公社の健全化を図るために、供用開始されている消防本部用地とIT創造館用地を購入します。

第3次那覇市総合計画が終了することから、平成20年度を初年度とする第4次総合計画を策定します。第4次総合計画については、「未来を考える」市民会議の提案を市民ヒアリングを受けて市原案を作成し、総合計画策定審議会の審議を経たあと、議会において基本構想の議決を得て策定していきます。

市政を取り巻く環境は、ますます厳しくなることが予想されますが、私は、31万余の市民が、「住んでよかった。いつまでも住み続けたい。」と思う、「風格ある県都・那覇」の建設のために、今後とも全力を尽くす決意でございます。

市民の皆様からぜひご協力をお願い申し上げ、私の施政方針といたします。

平成19年2月20日
那覇市長　翁長　雄志

協働で風格ある県都・那覇市を建設

市民・企業・行政の協働で新時代へ力強く邁進

主要事業の説明

協働型まちづくりの促進

本市における課題について、NPO、大学、企業などと協働で調査・研究し、課題の解決を図る「多様な主体との政策研究事業」を実施します。

市民参加の市政運営を推進するため、「跳びだせ！市長どいの広場」を土曜日も開設するほか、「市民との協働」出前講座、「市民とのコミュニケーション事業」などを実施します。

旧上下水道局合併に伴い、新たにコミュニティ機能と青少年育成・支援を拡大します。

障がい者の就労支援を推進するため、「ジョブサポーター養成事業」を実施し、障がい者の職場定着を促進します。

福祉・保健・医療

4箇所の認可外保育施設を認可保育園へ移行させるとともに、平成20年度・21年度のさらなる認可化移行に向けて、認可外保育施設に対する施設整備補助や保育の指導支援など、保育の指導支援を図ります。

都市の安全

市民参加の市政運営を推進するため、「跳びだせ！市長どいの広場」を土曜日も開設するほか、「市民との協働」出前講座、「市民とのコミュニケーション事業」などを実施します。

「那覇市地域福祉基金」の拡大に努めます。

旧上下水道局合併に伴い、新たにコミュニティ機能と青少年育成・支援を拡大します。

障がい者の就労支援を推進するため、「ジョブサポーター養成事業」を実施し、障がい者の職場定着を促進します。

社会教育・スポーツ・レクリエーションの充実

公民館においては、市民の生涯学習や健康増進、生活文化の振興に寄与する各種学級や講座を開設するとともに、地域団体などとの協働により、地域連携事業を実施します。

青年を対象とした、一般教養や生活課題解決のための講座を開設し、青年同士や地域との交流、仲間づくりをとおしての交流、仲間づくりをとおして、積極的な社会参加を促す事業を進めます。

農水産業の振興

農業振興として、本市在住農家を強化し、農産物の販売を推進するサークル活動の支援を進めます。

農家の生産奨励のため各種助成を実施し、農産物の流通・産地消を進めます。

水産業については、漁業生産条件の整備のため、浮魚礁（うきぎょしょう）設置、漁船船体装備への助成を行います。

県農業信用基金協会や県漁業信用基金協会への出資や低利融資制度をとおし、引き続き農業・漁業経営環境の安定化を支援します。

雇用・勤労者対策の充実

雇用対策として若年者の就職意識を高め、企業に向けて若者者や障がい者の雇用促進を図るための啓発活動や助成金制度を実施します。

「なはし就職なんでも相談

平成19年度主な新規及び注目事業

○は新規事業　単位:千円

1.市民がつくる自治都市
○(1)多様な主体との協働による政策研究事業(1,400)
○(2)市民との協働による地区のまちづくり計画策定事業(1,537)
(3)協働のまちづくり事業(3,500)
(4)市民との協働「出前トーク」事業(300)

2.平和の発信都市
○(1)ホノルル市姉妹都市交流事業(1,205)

3.住みよい生活都市
(保健・医療・福祉)
○(1)ジョブサポーター養成事業(512)
○(2)居住サポート事業(1,235)
○(3)こども食育推進事業(食器等購入)(17,437)
(4)育児支援家庭訪問事業(12,800)
(5)つどいの広場事業(5,500)
(6)児童クラブ運営補助金(126,840)
(7)法人保育所新規等建設補助金(277,388)
(8)那覇市地域福祉基金助成事業(8,501)
(市街地の整備)
(1)真嘉比・古島第二土地区画整理事業(2,632,000)
(2)モノレール旭橋駅周辺市街地再開発事業(616,000)
(3)牧志・安里地区市街地再開発事業(372,000)
(4)久場川市営住宅建替事業(698,488)
(5)石嶺市営住宅建替事業(1,848,778)
(6)識名市営住宅建替事業(468,166)
(総合交通体系の整備)
○(1)総合公共交通の推進事業(21,000)
○(2)交通安全施設整備事業(5,000)
(3)石嶺線(2)街路事業(900,000)
(都市の安全)
○(1)防災マップ作成事業(1,765)
○(2)消防資機材整備事業(5,250)
(3)特殊地下壕対策事業(7,880)

4.美ら島の環境共生都市
(環境の保全・再生・創造)
○(1)那覇市地球環境保全行動計画策定事業(3,000)
(2)し尿・浄化槽汚泥処理施設整備事業(473,077)
(3)住宅用太陽光発電導入促進助成事業(1,000)
(みどりと水辺と公園の整備)
○(1)虎瀬公園整備事業(200,000)
(2)屋上・壁面緑化推進事業(10,000)
(3)公園リノベーション整備事業(15,000)

5.学び創造する文化都市
(幼稚園教育・学校教育の充実)
(1)上山中学校校舎建設事業(1,331,977)
(2)城南小学校校舎建設事業(553,768)
(3)城東小学校校舎建設事業(56,203)
(4)松島中学校校舎建設事業(7,192)
○(5)城北小学校校舎防音復旧事業(48,924)
○(6)幼児教育振興アクションプログラム策定事業(2,292)
(社会教育、スポーツ・レクリエーションの充実)
(1)奥武山野球場の整備(771,266)
○(2)(仮称)牧志・安里公民館図書館設置事業(1,850)
(伝統文化の保存と継承)
(1)国宝「琉球国王尚家関係資料」修理事業(8,000)
○(2)国宝高家文書目録作成事業(7,010)
○(3)那覇空港大嶺地区理蔵文化財分布調査(5,000)
(4)伊江殿内庭園(環境整備含む)整備事業(81,203)
(市民文化の創造)
(1)芸術監督設置事業(1,764)
○(2)太鼓フェスティバル事業(2,000)

6.アジア・太平洋の自由交易都市
(1)那覇市中心市街地活性化基本計画策定事業(5,500)
(2)なはし就職なんでも相談センター運営事業(6,079)
○(3)基幹系業務システム再構築推進事業(7,160)
○(4)電子入札事業・電子納品事業(8,264)

7.行財政基盤および執行体制の強化
(1)第4次総合計画策定事業(6,389)
○(2)ISO9001認証取得拡大事業(4,100)

入学、転勤などで3月下旬から4月上旬にかけて窓口が混みあうため、土・日曜日の窓口を開設します。開設日時は3月24日(土)・25日(日)・31日(土)、4月1日(日)の9時から17時まで　☎862-3274　市民課